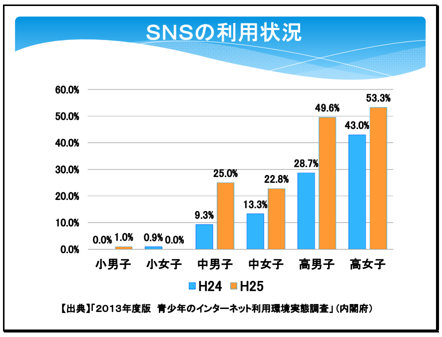
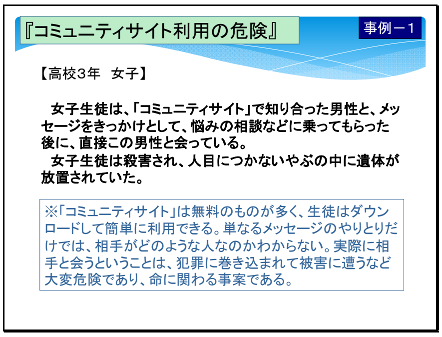
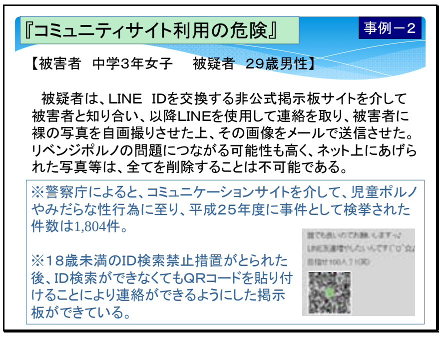
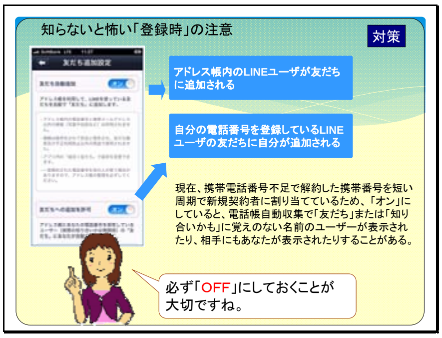
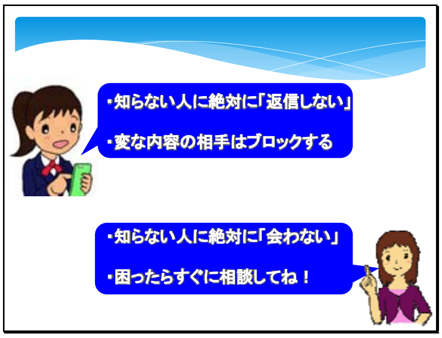
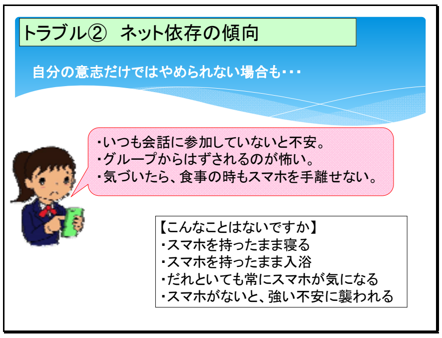
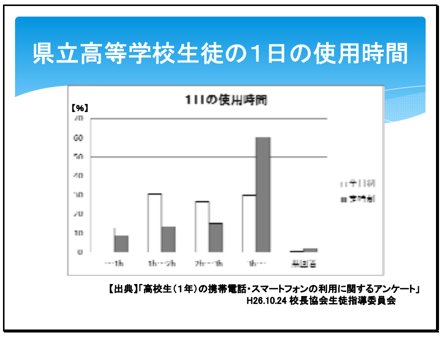
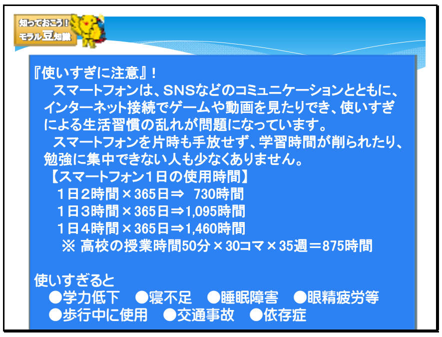
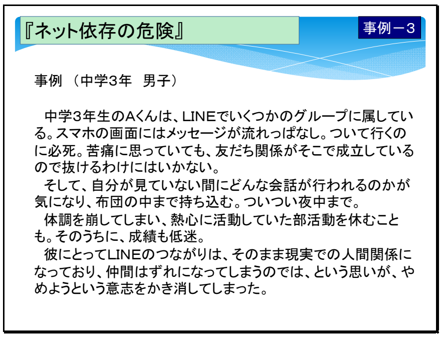
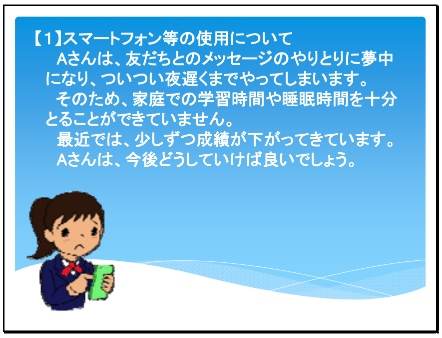
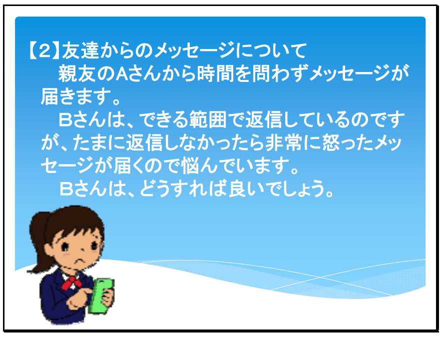
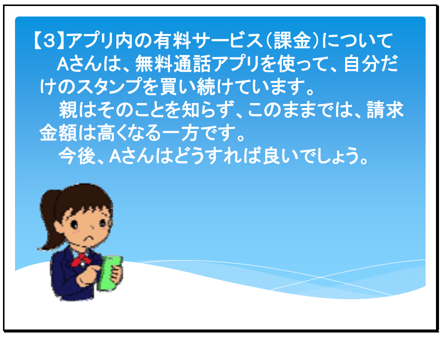
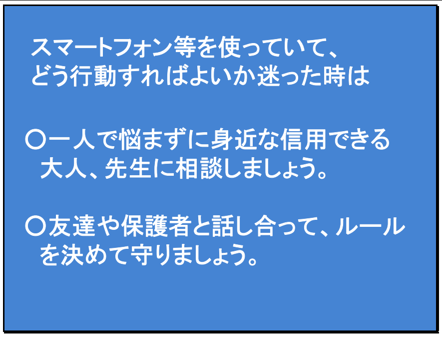
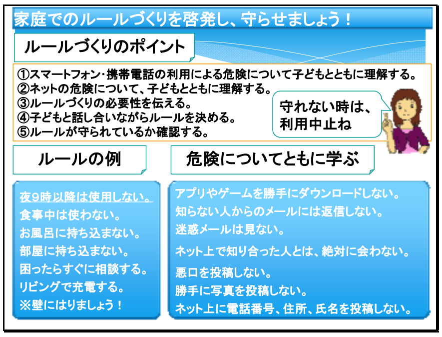
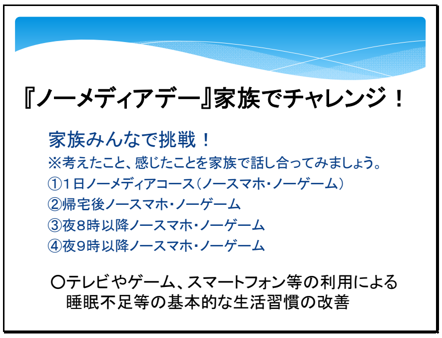
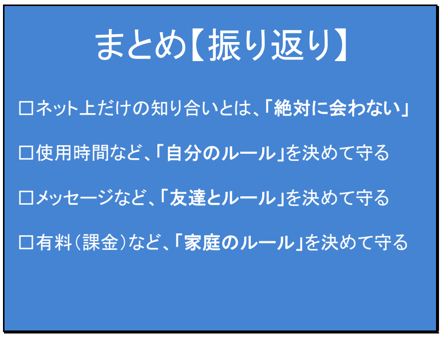
<table>
<tr><td>スライド1</td><td> </td><td>スマートフォンの普及により、LINEやツイッター、facebook等のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の利用が急速に増えています。例えばLINEでは、サイト内でグループをつくり、メッセージや画像の交換、スタンプで意思表示するなど、手軽にコミュニケーションができます。その反面、過度の利用による生活習慣への影響やグループ内でのトラブル(仲間はずれ、安易な投稿)など、様々な問題が起こっています。それでは、「SNSの利用について」を始めます。</td></tr>
<tr><td>スライド2</td><td></td><td>「SNSの利用状況」は、内閣府の実態調査によると、平成25年度では、平成24年度と比較すると、中学生、高校生で利用率が大きく増加しています。これに伴い、SNSの利用による様々なトラブルが起こっています。
特にコミュニティサイト利用による被害が増加しており、そのトラブルについて紹介します。</td></tr>
<tr><td>スライド3</td><td> </td><td>コミュニティサイトは無料のものが多く、簡単にダウンロードできます。サイト内では、簡単な会話ができます。そこで、LINEのIDを教え合うことで、個別に会話ができるようになります。悩み事を聞いてくれたり、相談にのってくれたりするなど、優しくしてもらうことにより、相手に会ってみようという気持ちになり、実際に会うことで、犯罪に巻き込まれたケースが急増しています。</td></tr>
<tr><td>スライド4</td><td></td><td>(スライドの事例を読む。)
ネット上でのメッセージのやりとりだけでは、相手がどのような人物かわかりません。全く別の人物がなりすますことができ、ネット上で知り合った人と実際に会うことは、犯罪に巻き込まれて被害に遭うなど、このように危険で命に関わる事案になる可能性があります。</td></tr>
<tr><td>スライド5</td><td></td><td>(スライドを読む)
平成25年度に事件として検挙された件数は全国で1,804件となっていますが、これは氷山の一角にすぎません。
技術的な対策がなされても、次々に新しい方法が考え出されるため、使用者の規範意識を高めることが重要です。 そして、コミュニティサイト等ネット上の相手は誰か分らないので、絶対に会わないことが大切です。</td></tr>
</table>

スライド6		LINEの設定については、ID検索を「OFF」にします。18歳未満のユーザーには、ID検索機能停止措置がされていますが、安全に使用するためには、必ずID検索設定を「OFF」にしておくことが大切です。
スライド7		次に、「友だち追加設定」の「友だち自動追加」と「友だちへの追加を許可」をOFFにしておくことです。
スライド8		知らない人からのメッセージは、絶対に返信しない。メッセージ内容が変な相手についてはブロックして、メッセージが届かないようにしましょう。 また、ネット上で知り合った相手はどんな人物かメッセージのやりとりだけではわかりません。画像があったとしても、別人の画像で、いわゆる「なりすまし」をしていることも考えられます。犯罪に巻き込まれたり、被害にあったりする可能性があるので、絶対に「会わない」ように指導してください。困ったらすぐに身近な大人や先生に相談するように指導してください。
スライド9		次に、ネット依存の傾向です。 ネットゲームやツイッター、動画共有サイトなどが面白くて、使用を続けてしまう場合があります。 LINEについては、自分の意志だけでやめられない場合もあります。「すぐに返信しないと、グループから外されてしまうかもしれない」という不安から、気づいたら食事の時もスマホを手離せない状況になると想定されます。

<table>
<tr>
<td>スライド10</td>
<td>
</td>
<td>このグラフは、校長協会生徒指導委員会が実施した「高校生(1年)の携帯電話・スマートフォンの利用に関するアンケート」から、「1日の使用時間について」を抜粋したものです。3時間以上使用している生徒が、全日制で約3割、定時制で約6割となっています。
使用する時間が多ければ、勉強時間が少なくなる、集中力が持続しないなどの影響で、学力低下につながります。
スマートフォン等は、生活上の便利なツールとして適切に使うことが大切です。
生徒は、どれくらいの時間利用しているでしょうか？近くに携帯やスマートフォンがないと落ち着かないという生徒はいないですか？</td>
</tr>
<tr>
<td>スライド11</td>
<td>
</td>
<td>スマートフォンの使用時間について、1日の使用時間によって、年間にどれくらい使用することになるのかをまとめました。
参考に年間の高校の授業時間と比較してみると、1日3時間の利用で、授業時間を大幅に超えることが分ります。
スマートフォンの使い過ぎにより、スライドにあるような様々な問題が起こることが想定されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>スライド12</td>
<td>
</td>
<td>（スライドの内容を読む）
この事例のようなことは、特定の子どもだけに起こることではなく、スマートフォン等によるコミュニケーションで仲間づくりをしている子どもたちなら、誰にでも起こる危険性があると想定されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>スライド13</td>
<td>
</td>
<td>【先生方へ】
このスライドから、生徒への教材になります。
3問作成しています。各校の実情や喫緊の課題等に合わせて、教材を追加・作成してください。
※グループでの話し合いにより、生徒それぞれの考えや大切にしていることを共有することで、自らのルールづくりにつながることが期待されます。
【生徒への質問】
それでは、SNSの利用に関しての質問をします。
（スライドを読む）【スマートフォン等の使用について】
それでは、みんなで考えてみましょう。
【回答例】
・使用する時間を決める。
・勉強の時は、近くにスマートフォンを置かない。　等</td>
</tr>
</table>

スライド14		【生徒への質問】 それでは、次の質問です。 (スライドを読む)【友達からのメッセージについて】 それでは、みんなで考えてみましょう。 【回答例】 ・返信する時間を決める。 ・返信できるときは返信する。 ・電源を切る。　等
スライド15		【生徒への質問】 それでは、次の質問です。 (スライドを読む)【アプリ内の有料サービス(課金)について】 みんなで考えてみましょう。 【回答例】 ・親と相談して上限を決める。 ・アプリ内課金をできないように設定する。 ・金銭感覚がつくよう手伝いなどをさせて、お金の価値について学ぶ。　等 ※機種によっては、課金の体系が異なります。
スライド16		【生徒へのまとめ】 スマートフォン等を使っていると、他にも迷う場面があります。 どう行動すれば良いか迷った時は、 ・一人で悩まずに身近な信用できる大人に相談したり、先生に相談したりしましょう。 ・友達や保護者と話し合って、ルールを決めて守りましょう。
スライド17		【先生方へ】 家庭でのルールづくりのポイントについて、まとめました。生徒と一緒に話し合いながら、スマートフォン等でのインターネット利用にかかる危険について理解することが大切です。 参考に、ルールの例をあげています。大人からの一方的なルール設定ではなく、インターネット上の危険やトラブルに巻き込まれないために必要であることを伝えて一緒にルールを決めるとともに、そのルールが守られているか、定期的、継続的に確認をしていくことが大切です。

スライド18		ネットモラル向上の「主体的な取組」が、県下各地で実施されています。兵庫県教育委員会のホームページで紹介しています。これらの取組を参考に、各校での主体的な取組（ルールづくり等）を進めてください。 URL： http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/sumaho/sumaho.html
スライド19		主体的な取組の１つとして、「ノーメディアデー」を設定し、家族みんなでの挑戦があります。家族でスマートフォンなど対象のメディアや利用の時間等を設定してチャレンジし、生活習慣を改善する機会となります。ぜひ、参考にしてください。
スライド20		研修のまとめです。次の4つの項目について確認し、生徒への指導、家庭への啓発を進めてください。 これからも、スマートフォン等の情報機器の使い方を振り返り、よりよい生活が送れるように定期的、継続的に指導をしてください。